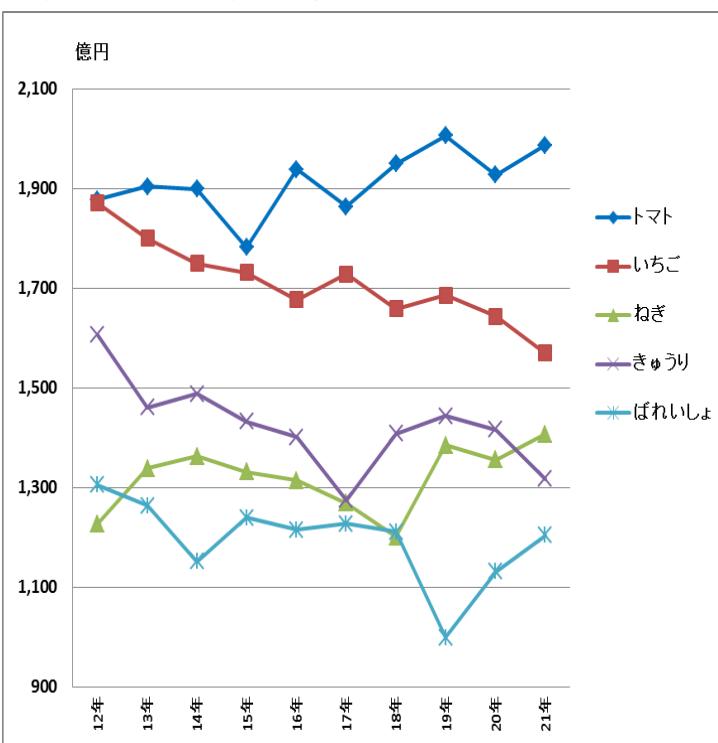


4 トピック 一野菜の品目別産出額は、トマト、ねぎが増加、きゅうりは大幅に減少—

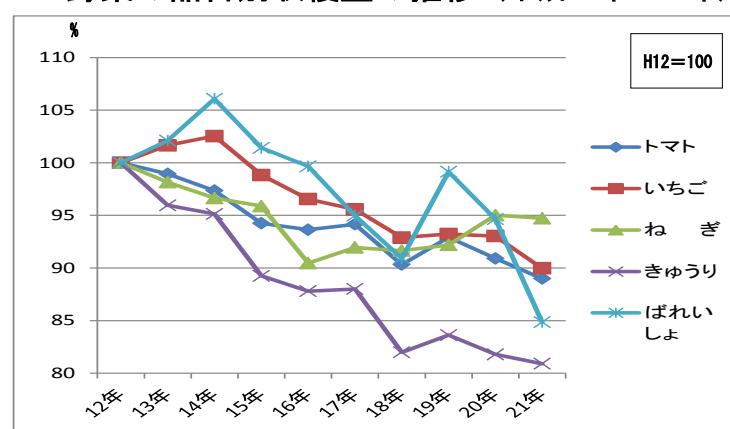
平成21年の野菜の産出額を品目別にみると、トマト、いちご、ねぎ、きゅうり、ばれいしょが上位5品目を占めている。これらを平成12年と比較すると、トマトとねぎは増加し、他品目は減少している。このうちトマトは、サラダ需要等の増加とそれに対応した新たな品種の開発等により、付加価値の高いトマトやミニトマト等の収穫量が増加していることが、トマト全体として収穫量が減少しているにもかかわらず、産出額の増加をもたらしている。また、ねぎについては、鍋物の材料や薬味として一定の需要があることがその一因であると考えられる。一方、他の品目は、収穫量が減少したことなどが産出額を減少させる主な要因になっていると考えられる。特にいちごときゅうりの産出額が右肩下がりで減少しているが、いちごは他の果実等との競合の激化により、きゅうりは、漬物需要の減少等、食生活の変化により、需要が減少傾向となり、そのことが収穫量の減少を通じて、産出額の減少を招いていいると考えられる。

野菜の品目別産出額の推移（平成12年～21年）



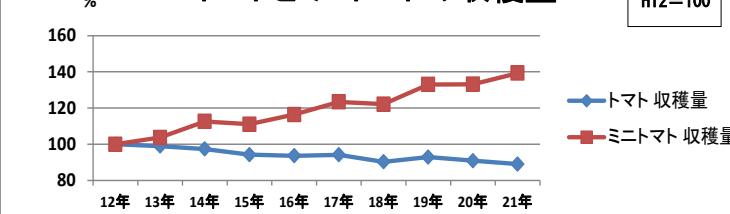
注)21年産出額の野菜上位5品目
資料:農林水産省「生産農業所得統計」

野菜の品目別収穫量の推移（平成12年～21年）



資料:農林水産省「野菜生産出荷統計」

トマトとミニトマトの収穫量



資料:農林水産省「野菜生産出荷統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はページのお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html